

一般演題（ポスター発表） ★マークは優秀発表賞審査対象演題

午前の部

ポスター会場 （O棟1階ロビー） 9:30～12:20

P-001am 抗リシューマニア活性を有する薬用植物の成分探索（その51）

—コショウ科植物ヒハツモドキ *Piper retrofractum* の成分について—

○島田港¹、飯田基雄²、荻貴之³、安元剛⁴、廣瀬美奈⁵、安元加奈未¹

（¹東京理大学・薬、²東京理大・機器セ、³沖工技セ、⁴北里大・海洋生命、
⁵琉球大・研究共創機構）

P-002am 抗リシューマニア活性を有する薬用資源の成分探索（その52）

—沖縄県産海綿 *Plakortis* sp. 及び *Luffariella* sp. の成分について—

○高橋里津¹、飯田基雄²、城森啓宏³、安元剛⁴、廣瀬美奈⁵、林康広⁶、
田中淳一³、安元加奈未¹

（¹東京理大薬、²東京理大機器セ、³琉球大理、⁴北里大海洋生命、
⁵琉球大研究共創機構、⁶宮崎大農）

P-003am ★皂莢から単離されたトリテルペン配糖体の構造と細胞毒性

○岡島正典、横須賀章人、三卷祥浩 （東京薬大薬）

P-004am ★紅花の化学成分と終末糖化産物(AGEs)生成阻害活性

○浅井千佳、横須賀章人、三卷祥浩 （東京薬大薬）

P-005am ★キンポウゲ科植物の化学成分 (48) *Helleborus x hybridus* 地下部から単離
された化合物の構造と細胞毒性

○大野真実、吉澤由佳、横須賀章人、三卷祥浩 （東京薬大薬）

P-006am ★フクリンリュウゼツランの化学成分と細胞毒性

○河合輝大、横須賀章人、三卷祥浩 （東京薬大薬）

P-007am ★LC-MS による生薬ニンジン由来トリテルペノイドサポニンの構造解析

○内山翔太、大月興春、菊地崇、李巍 （東邦大薬）

P-008am ★通導散がシスプラチンによる K562 および K562/Adr 細胞増殖抑制活性に
及ぼす影響

○渡辺宇香、菊地崇、大月興春、李巍 （東邦大薬）

- P-009am ★LC-MS を用いたミツマタ花中ダフナン型ジテルペノイドの網羅的解析
○村橋香帆、大月興春、菊地崇、李巍 （東邦大薬）
- P-010am ★皮膚由来微生物-皮膚細胞共培養法による産生化合物の探索
○小林令奈、齋藤駿、荒井緑 （慶應大理工）
- P-011am ★神経再生医薬シードを目指した神経幹細胞分化活性化剤 terphenol A の
合成研究
○佐藤智也¹、川端大樹¹、荒井緑¹ （¹慶應大理工）
- P-012am 住肉孢子虫由来タンパク質病原の結晶構造解析
○石崎翔¹、荒川孝俊¹、平健介²、斉藤守弘^{2,3}、横山英志¹
（¹東京理大院薬、²麻布大獣医、³日本栄養大栄養）
- P-013am ★プロリンアミドを用いる分子内不斉アルドール反応の溶媒効果
○星知希¹、赤羽優一²、金谷貴行¹、小暮紀行¹、猪股浩平¹
（¹国際医福大薬、²東北医薬大薬）
- P-014am ★アデノウイルス感染症治療薬を目指した Carbovir 誘導体の核酸塩基部
構造活性相関研究
○澤田真効¹、原杏子¹、佐藤孝輝¹、高橋輝成¹、小川拓哉¹、紺野奇重¹
（¹国際医福大薬）
- P-015am α 選択的糖縮合と天然物配糖体の α 体へのアノメリゼーションの検討
○金谷貴行¹、原野悠斗¹、小暮紀行¹、猪股浩平¹、羽田紀康²
（¹国際医福大薬、²東京理大薬）
- P-016am ★エリスロマイシンの構造を基盤とした非天然型 PKS-NRPS ハイブリッド
化合物群の構築
○前田祐貴、西村壮央、菊地晴久 （慶應大薬）
- P-017am ★7,8-アリアルオキシフラボン類の合成
○大場由貴、西村壮央、菊地晴久 （慶應大薬）

- P-018am ★フェンタニル誘導体の合成と置換基効果の解析
○渡部広睦¹、八木康樹¹、有田浩暢¹、瀬崎浩平¹、坂田遥佳¹、西本瑞葉¹、
船田正彦²、富山健一³、田畑英嗣⁴、中村佳代¹、忍足鉄太⁴、夏莉英昭⁵、
高橋秀依¹
(¹ 東京理大薬、² 湘南医療大薬、³ NCNP、⁴ 帝京大薬、⁵ 新潟薬大薬)
- P-019am ★カルフェンタニルアミド誘導体の立体構造解析
○瀬崎浩平^{1,3,4}、有田浩暢¹、西本瑞葉¹、今泉克明⁴、荻野万人⁴、
船田正彦^{2,3}、富山健一³、田畑英嗣⁵、中村佳代¹、忍足鉄太⁵、
夏莉英昭⁶、高橋秀依¹
(¹ 東京理大薬、² 湘南医療大薬、³ 国立精神神経センター精神保健研薬物
依存研、⁴ 国立精神神経センター病院薬剤部、⁵ 帝京大薬、⁶ 新潟薬大薬)
- P-020am ★エトミデート類縁体の効率的な合成方法の開発
○藤本修平^{1,2}、中村佳代¹、高橋秀依¹ (¹ 東京理大薬、² 関税中央分析所)
- P-021am L-グルコースの合成法の検討
○高木明¹、有田浩暢¹、中村佳代¹、高橋秀依¹ (¹ 東理大薬)
- P-022am ★チオキサントン誘導体触媒によるオキシムの E/Z 光異性化反応の開発
○野口りりは¹、須賀真悠子¹、高田琉聖¹、中村佳代¹、田畑英嗣²、
忍足鉄太²、夏莉英昭³、高橋秀依¹
(¹ 東理大薬、² 帝京大薬、³ 新潟薬大薬)
- P-023am ★大麻成分 CBN のグリコシル化方法の確立
○倉智美帆¹、新井棕介¹、横山流香¹、中村佳代¹、田畑英嗣²、忍足鉄太²、
夏莉英昭³、高橋 秀依¹ (¹ 東京理大薬、² 帝京大薬、³ 新潟薬大薬)
- P-024am チロシナーゼ及びセラミダーゼ阻害作用を有するケイヒ酸誘導体の合成の
検討
○奥澤拓真¹、高山淳¹、玄美燕¹、加藤敦²、坂本武史¹
(¹ 城西大薬、² 富山大学附属病院薬剤部)
- P-025am SMOX 選択的阻害作用を有するポリアミン誘導体の探索
○村岡優太¹、高山淳¹、植村武史¹、坂本武史¹ (¹ 城西大薬)

- P-026am ★フェナシルフラン誘導体の位置選択的不斉共役付加反応
○石塚翔¹、光田太郎¹、阿久津裕士¹、栃藪瑠衣¹、吉田彰宏¹、山ノ井孝¹
(¹城西大薬)
- P-027am ★アメナメビルとヒドロキシ酸類の共結晶化による物性改善
○島田侑弥¹、荒井直人¹、廣田慶司¹、工藤敏之²、山岸喜彰²、伊藤清美²、
北川宙輝³、小林正人³、深水啓朗¹
(¹明治薬大、²武蔵野大薬、³マルホ株式会社)
- P-028am ★アメナメビル共結晶を原薬とするミニタブレットの調製
○日下部結彩¹、荒井直人¹、廣田慶司¹、工藤敏之²、山岸喜彰²、
伊藤清美²、北川宙輝³、小林正人³、深水啓朗¹
(¹明治薬大、²武蔵野大薬、³マルホ株式会社)
- P-029am ★主成分分析を用いたラマン分光法による doxorubicin 封入リポソームの
物性評価
○星野明輝¹、山田凌也¹、浅井健正¹、藤本泰輝²、東頭二郎²、小出達夫³、
廣田慶司¹、深水啓朗¹ (¹明治薬大、²千葉大院薬、³国立衛研)
- P-030am ★Raman 分光法を用いたリポソーム内共封入抗がん薬物の同時定量
○仁平直希¹、浅井健正¹、藤本泰輝²、東頭二郎²、小出達夫³、廣田慶司¹、
深水啓朗¹ (¹明治薬大、²千葉大院薬、³国立衛研)
- P-031am ★アクリル系ポリマー基剤がリバスチグミン貼付剤における薬物の放出性
及び皮膚透過性へ及ぼす影響評価
○井上旭飛¹、小島優姫¹、岡本憲明²、浦松俊治²、藤井美佳¹、寺山涼子¹、
廣田慶司¹、深水啓朗¹ (¹明治薬大、²大同化成工業)
- P-032am ★リポソーム内に封入された Ciprofloxacin の物性および放出特性の評価
○伊藤小華¹、浅井健正¹、和久陽南子¹、藤本泰輝²、東頭二郎²、
廣田慶司¹、小出達夫³、深水啓朗¹ (¹明治薬大、²千葉大院、³国立衛研)
- P-033am ★アンブロキソール塩酸塩含有ヒアルロン酸溶解型マイクロニードルの
皮膚透過性評価
○井上綾香¹、廣田慶司¹、伊藤弘一¹、大野敦之²、笹倉瑛里²、深水啓朗¹
(¹明治薬大、²キューピー株式会社)

- P-034am ★イオン液体含有テープ剤の皮膚透過性および薬物の分子状態評価
○池谷春瑠¹、高橋悠樹¹、岡本憲明²、浦松俊治²、西山裕介³、寺山涼子¹、
廣田慶司¹、深水啓朗¹ (¹ 明治薬科大学、² 大同化成工業、³ 日本電子 (株))
- P-035am 溶解型マイクロニードルの作製法が製剤中の薬物分布に及ぼす影響
○石井悠佳¹、安藤大介²、赤羽広輝¹、小出達夫²、廣田慶司¹、深水啓朗¹
(¹ 明治薬大、² 国立医薬品食品衛生研究所)
- P-036am ★生理学的薬物吸収モデルを用いた消化管生理の個体間変動が薬物析出
速度に及ぼす影響の評価
○五十嵐幸星¹、上林敦¹ (¹ 東京理大院薬)
- P-037am ★脂質膜流動性に対する TritonX-100 の蛍光異方性測定による評価
○岩渕拳士¹、中園鴻志¹、槌田智裕¹、後藤了¹ (¹ 東京理大薬)
- P-038am ★光褪色後蛍光回復法による HepG2 細胞の細胞膜流動性の測定
○山下航平¹、町田晃一¹、山本法央¹、小谷明²、袴田秀樹¹
(¹ 東京薬大薬、² 大阪医薬大薬)
- P-039am RTK 融合タンパク質の活性化を阻害する人工タンパク質の de novo 設計
○松浦能行¹ (¹ 国際医福大薬)
- P-040am ★薬剤耐性菌 *Acinetobacter baumannii* の一過性コリスチン依存がヘテロ
耐性を駆動する
○浅見賢音¹、鴨志田剛¹、増田佳子¹、石野楓賀¹、北村光¹、熊倉和希¹、
佐藤伶華¹、加屋優希¹、山口大貴¹、森田雄二¹ (¹ 明治薬大)
- P-041am ★病院で注意すべき日和見感染菌 *Achromobacter xylosoxidans* の多剤排出
ポンプ AxyB の機能亢進によるメロペネム耐性化
○佐藤伶華¹、菅野瑞軌¹、角谷愛紘¹、坂入孔明¹、山口大貴^{1,2}、
鴨志田剛¹、西野邦彦²、森田雄二¹ (¹ 明治薬科大学、² 大阪大学)
- P-042am ★緑膿菌のコリスチン耐性における MexXY 多剤排出系の役割
○市川綾夏¹、安田響、大塚翼、角谷愛紘、坂入孔明、鴨志田剛、森田雄二
(¹ 明治薬大薬)

- P-043am ★緑膿菌 RND 型多剤排出系 MexGHI-OpmD の機能亢進をもたらす上流領域変異の同定
○森駿介¹、清水結衣¹、佐藤伶華¹、角谷愛紘¹、坂入孔明¹、山口大貴¹、鴨志田剛¹、森田雄二¹（¹明治薬大）
- P-044am ★緑膿菌 PhoQ 変異株におけるコリスチン耐性関連遺伝子の分子遺伝学的解析
○坪井愛莉¹、和田鮎美¹、山田真由¹、坂入孔明¹、森駿介¹、佐藤伶華¹、角谷愛紘¹、安田響¹、鴨志田剛¹、森田雄二¹（¹明治薬大）
- P-045am ★病原真菌である *Trichosporon asahii* のストレス抵抗性におけるユビキチンプロテアソーム経路関連遺伝子である Grr1 と Cdc4 の関与
○松村百香¹、中山メイ¹、松本靖彦¹、倉門早苗¹、杉田隆¹（¹明治薬大）
- P-046am 抗酸菌由来 D アミノ酸によるマクロファージおよび肺線維芽細胞の遺伝子発現の変化
○多田納豊¹、岩永佑¹、占部優子¹、原彩衣璃¹、東山藍¹、山口優奈¹、宗像達夫¹、澤井円香¹、八木秀樹²、佐野千晶³
（¹国際医療福祉大福岡薬、²国際医療福祉大薬、³島根大医）
- P-047am 新規抗マalaria薬探索における標的候補 *P. falciparum* protein disulfide isomerase (PfPDI)に関する検討
○坂本沙祐里¹、平岡修²（¹湘南医療大薬、²就実大薬）
- P-048am ★インフルエンザウイルスヘマグルチニンと細胞表面ヘパラン硫酸の細胞内取り込みにおける相互作用
○小林優紀¹、有馬健昇¹、穴井優風¹、河野友海¹、高橋勝彦¹、奥輝明¹、山本典生²、東伸昭¹（¹星薬大、²東海大医）
- P-049am ★Tfh 分化における T 細胞内在性 CTLA4 の役割
○石丸穂、清船大雅、小長谷知宏、安江京太、中森千晶、加瀬直也、原田陽介（東京理大院薬）
- P-050am ★アトピー性皮膚炎における Foxp3 Bcl6 欠損 Treg 細胞の役割
○島方愛未¹、伴野茉衣²、金成諒太郎¹、大野深音²、金子勇斗²、加瀬直也¹、原田陽介¹（¹東京理大院薬、²東京理科大薬）

- P-051am ★免疫制御分子 B7-H6 に対する抗体の樹立と NK 細胞の再活性化
○LIN YIKUN¹、岩澤卓弥²、加藤和則^{1,2}
(¹東洋大栄養科学、²東洋大ライフイノベーション)
- P-052am ★高水溶性ノビレチンは抗 EpCAM 抗体薬物複合体の抗腫瘍効果を増強する
○増岡知也¹、岩澤卓弥²、岩下真純³、橋爪浩二郎³、加藤和則^{1,2}
(¹東洋大院健康スポーツ科学、²東洋大ライフイノベーション、³花王)
- P-053am ★ β 2m 非依存的な HLA クラス I 重鎖の細胞表面発現制御と分子動態の解析
○加藤瑠惟¹、野中麻衣¹、伊藤晃成¹、青木重樹¹ (¹千葉大院薬)
- P-054am ★脳梗塞急性期の炎症を制御するグリコサミノグリカン構造・機能相関
○関口陽大¹、七五三掛桃²、米野雅大¹、佐藤一樹¹、和田猛¹、
戸井田敏彦³、東恭平¹ (¹東京理大薬、²東京理大院薬、³千葉大院薬)
- P-055am ★硫酸化糖鎖を認識するヘパリナーゼ-Fc 融合タンパク質の作製
○松本桃佳¹、史佳¹、高橋勝彦¹、亀山浩¹、東伸昭¹ (¹星薬大)
- P-056am ★5-HT_{1A} 受容体刺激によるストレス抵抗性形成の性差
○田那辺栞花、黒川和宏、武田弘志、辻稔 (国際医療福祉大学薬学部)
- P-057am ★胎生期ストレスによるストレス適応障害における GABA シグナルの関与
○パレデスペセロスハルミ、持田(齋藤)淳美、武田弘志、宮川和也
(国際医福大薬)
- P-058am ★内因性・薬理的な海馬 HIF シグナル活性化とストレス適応形成
○新井香玲菜、持田(齋藤)淳美、武田弘志、宮川和也 (国際医福大薬)
- P-059am ★*Enterococcus faecalis* 2001 は慢性予測不能軽度ストレス誘発性精神疾患
関連行動を予防する
○米倉陽奈¹、高橋浩平¹、岩佐正弘²、岩佐広行²、武田弘志¹、辻稔¹
(¹国際医福大薬、²日本ベルム)

- P-060am ★アルツハイマー病における ApoE と硫酸化糖鎖との結合阻害効果を有する生薬由来物質の探索
○八野桃圭¹、坂口奈菜¹、室崎颯月¹、史佳¹、高橋勝彦¹、橋本唯史²、東伸昭¹ (¹星薬大、²国立精神・神経医療研究センター)
- P-061am ★低分子ヘパラーゼ阻害物質によるアトピー性皮膚炎様炎症の抑制効果
○天坂蒼汰¹、田中玲也¹、田中大貴¹、小川アカル¹、史佳¹、高橋勝彦¹、小宮根真弓²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹
(¹星薬大、²自治医大、³SBI ファーマ、⁴順天堂大医)
- P-062am ★認知症治療薬が心室再分極過程に及ぼす作用の相違：isoflurane 麻酔モルモットを用いた検討
○永野紘奈、神林隆一、相本恵美、永澤悦伸、高原章 (東邦大薬)
- P-063am ★Desflurane 麻酔モルモットにおける QT 延長薬の催不整脈作用特性
○瓦谷優海、神林隆一、相本恵美、永澤悦伸、高原章 (東邦大・薬)
- P-064am ★マウス肺静脈心筋の自発活動と電気生理学的特性の検討
○野田崇弘¹、関舞香¹、濱口正悟¹、行方衣由紀¹ (¹東邦大薬・薬物学教室)
- P-065am ★静脈内投与製剤の血管外漏出による細胞傷害性及び炎症誘発性
○藤原舞、内藤雄介、芦澤優汰、藤田康介、高石雅樹、小林章男
(国際医福大薬)
- P-066am ★エチレングリコール中毒の micro Computed Tomography を用いた死後スクリーニング法開発に向けた基礎的検討
○竹馬瑤晟¹、永澤明佳¹、小島正歳²、小椋康光¹
(¹千葉大薬、²千葉大医)
- P-067am ★アジア産果実による小腸 OATP2B1 阻害を介した *in vitro* 飲食物相互作用評価
○西原なずな¹、押川采慧¹、野口絵理香¹、秋好健志^{1,2}、Orawan Monthakantirat³、Supawadee Daodee³、Yaowared Sumanont³、陳世銘⁴、高橋里歩¹、今岡鮎子^{1,2}、大谷壽一^{1,2,5}
(¹慶應大薬、²慶應大医、³コンケン大薬、⁴台北医科大薬、⁵慶應大病院薬)

- P-068am ★カチオン性分子修飾ナノバブルの簡便調製と核酸搭載能評価
○名手栞¹、山口泰暉^{1,2,3}、高橋葉子^{1,4}、根岸洋一¹
(¹東京薬大薬、²徳島大院医歯薬、³徳島大 DDS セ、⁴北大院獣)
- P-069am ★抗体デリバリーを企図した超音波造影ガス内包抗体薬物複合体(ADC)
ナノバブルの調製と機能評価
○田中友麻¹、山口泰暉^{1,2,3}、濱野展人¹、田所弘子¹、高橋葉子^{1,4}、
根岸洋一¹
(¹東京薬大薬、²徳島大院医歯薬、³徳島大 DDS セ、⁴北大院獣)
- P-070am ★ナノバブル併用超音波照射による血管透過性亢進の時間的特性と
LNP/mRNA 筋組織送達効率への寄与
○笹子花琳¹、小原伽月¹、手塚洋平¹、中澤佳菜子¹、田中浩揮²、
秋田英万²、高橋葉子³、根岸洋一¹
(¹東京薬大薬、²東北大院薬、³北大院獣医)
- P-071am ★核酸搭載ナノバブルと低周波集束超音波併用による脳内核酸導入評価
○吉田沙妃¹、山口泰暉^{1,2,3}、高橋葉子^{1,4}、沼澤西洋¹、奥山颯斗¹、
根岸洋一¹
(¹東京薬大薬、²徳島大院医歯薬、³徳島大 DDS セ、⁴北大院獣)
- P-072am ★PEG 代替高分子を用いたナノバブルの調製と機能性評価
○松根優太¹、山口泰暉^{1,2,3}、高橋葉子^{1,4}、天野拓海¹、根岸洋一¹
(¹東京薬大薬、²徳島大院医歯薬、³徳島大 DDS セ、⁴北大院獣)
- P-073am ★トリプルネガティブ乳がん標的ナノバブル開発に向けた EGFR 結合ペプ
チド修飾の基礎的検討
○安達侑希¹、山口泰暉^{1,2,3}、高橋葉子^{1,4}、曾根俊介¹、根岸洋一¹
(¹東京薬大薬、²徳島大院医歯薬、³徳島大 DDS セ、⁴北大院獣)
- P-074am ★超音波応答性ナノバブルを用いた miR-146a 心筋送達による心不全治療
効果の経時的評価
○小原伽月¹、山口泰暉²、丸ノ内徹郎¹、田野中浩一¹、高橋葉子³、
根岸洋一¹ (¹東京薬大薬、²徳島大院薬、³北大院獣医)

- P-075am ★マイクロバブルと超音波を利用した抗腫瘍免疫誘導の評価
○富田雅貴¹、宗像理紗¹、鈴木亮¹ (¹帝京大薬)
- P-076am ★血中バンコマイシン濃度の簡易測定法の開発と患者検体への応用
○小林理奈¹、宗像寿美香²、平原翼²、加藤大¹
(¹昭和医大院薬、²昭和医大薬)
- P-077am Mrp4 KO マウスにおける尿酸の組織分布および尿中排泄の解析
○砂川大樹、土肥祐太、神沢陸斗、中村由伸、大森慎也、中西猛夫
(高崎健康福祉大薬薬)
- P-078am ★がん幹細胞を標的としたスルファサラジン封入リポソームの放出特性に関する検討
○呉くんよう、伊東晃太、濱野展人、石原比呂之 (東京薬大薬)
- P-079am 酸化酵素含有ボロン酸修飾ヒアルロン酸系におけるグルコースによるボロネー
ートエステルの架橋と酵素的開裂の試み
○三木涼太郎^{1,2}、八巻努²、内田昌希²、夏目秀視²
(¹横浜薬大、²城西大薬)
- P-080am ★ラウリル硫酸ナトリウムの添加が錠剤の崩壊特性に及ぼす影響
○田渕志保¹、三井美彩²、原和好²、吉田大介²、井上元基¹、山下雄史¹、
大貫義則¹ (¹星薬大、²日光ケミカルズ)
- P-081am ★ゲル化したチモロールマレイン酸塩持続性点眼液の回復条件
○鹿村仁菜¹、山岸珠嘉¹、小澤陽菜¹、秋山滋男²、山本佳久¹
(¹帝京平成大・薬、²昭和薬科大)
- P-082am ★急性非代償性心不全患者の心不全治療薬の使用法と BNP の改善に関する検討
○小俣豪¹、花澤聖^{2,3}、神山紀子^{1,2}、向後麻里^{1,2}
(¹昭和医大薬、²昭和医大院薬、³昭和医大病院薬)
- P-083am ★敗血症患者における過大腎クリアランス発現や持続に関する因子の検討
○小林大河¹、足立翔吾^{2,3}、大林真幸^{1,2}、向後麻里^{1,2}
(¹昭和医大薬、²昭和医大院薬、³昭和医大病院薬)

- P-084am ★乾癬性関節炎に対する IL-17 阻害薬の有効性及び安全性の評価
○梅原奈津実¹、嶋田修治² （¹東京理科大学薬、²東京理科大学薬）
- P-085am ★向精神薬添付文書の自然言語処理による医薬品意味空間の構築
○坂口颯斗、槌田智祐、後藤了 （東京理科大学薬）
- P-086am ★ホーチミン市の公立病院にはなぜ2つの薬局があるのか？—医薬品の
費用負担と給付対象に関する日越比較—
○勝野詩遥¹、今野華花²、加藤璃桜¹、比嘉琉勝¹、藤本隼颯¹、松下花鈴¹、
木村一絵³、伊豆津健一¹
（¹国際医福大成田薬、²国際医福大薬、³福岡国際医福大看）
- P-087am 経口抗菌薬の使用動向調査～抗菌薬の適正使用にむけて～
○藤原正裕、町田貴博、大野芳明、藤崎玲子、飯塚敏美 （望星薬局）

午後の部

ポスター会場 （O棟1階ロビー） 13:20～16:00

- P-001pm ★新規エストラジオール A-CD アナログの合成研究: 9 位水酸基の構築
○深谷虹太、野口直生、内田菜都子、金谷貴行、小暮紀行、猪股浩平
（国際医福大薬）
- P-002pm ★抗 SARS-CoV-2 RNA polymerase を標的とした 4'-フルオロコルジセピンの
合成
○正路菜々花¹、鋤田伸好²、服部真一郎²、満屋裕明²、紺野奇重¹
（¹国際医福大薬、²国立健康機器管理研究機構 国立国際医療研）
- P-003pm ★抗 SARS-CoV-2 活性を目指した 4'-フルオロシュードウリジンおよび 4'-
アジドシュードウリジンの合成
○平野真衣¹、高橋華桜¹、鋤田伸好²、服部真一郎²、満屋裕明²、
紺野奇重¹
（¹国際医福大薬、²国立健康機器管理研究機構 国立国際医療研）
- P-004pm ★マコラシン環化酵素の基質環化点および直鎖部に対する特異性の解析
○遠藤かざ音¹、今野翔¹、諸橋美有¹、田口晃弘¹、林良雄¹、谷口敦彦¹
（¹東京薬大薬）

- P-005pm ★GrsB-TE のホモキラルペプチド環化における基質側鎖構造の影響
○鈴木温子¹、今野翔¹、白濱彩音¹、水口友絵¹、田口晃弘¹、谷口敦彦¹、
林良雄¹ (¹ 東京薬大薬)
- P-006pm ★GST 活性を 1 分子レベルで検出するための蛍光プローブの創製
○土方雪菜¹、小松徹²、藤川雄太¹ (¹ 東京薬大生命、² 東大院薬)
- P-007pm ★AI 設計による新規膜タンパク質分解誘導剤(LYTAC)の創出
○細井悠暉¹、石森菜摘¹、依田悠聖¹、中静碧²、山田雄二^{1,2}、吉川大和^{1,2}、
濱田圭佑^{1,2} (¹ 東京薬大院薬、² 東京薬大薬)
- P-008pm ★HCC を標的としたプロドラッグ型ビタミン K 複合体の開発
○横井彩佳¹、平島俊亮²、中川公恵²、須原義智¹
(¹ 芝工大院・理工、² 神戸学院大・薬)
- P-009pm ★フェロトシス抑制の作用機序解明を目的とした新規ビタミン K 誘導体の合成
○日原葵音¹、井口莉里花¹、廣田佳久¹、須原義智¹ (¹ 芝工大院理工)
- P-010pm ★RNA 依存性 RNA ポリメラーゼおよび 3CL プロテアーゼの二重阻害を志向した新規ビタミン K 誘導体の創製
○遠藤青葉¹、北岡昂大¹、岡本実佳²、馬場昌範²、須原義智¹
(¹ 芝工大院理工、² 鹿児島大先端科学研究推進センター)
- P-011pm ★神経分化誘導活性の向上を志向したナフトキノン環修飾型ビタミン K 誘導体の創製
○岩野未歩¹、佐藤秀隆¹、金子達哉¹、加藤彩花¹、畠中一颯¹、武田一貴²、
廣田佳久¹、須原義智¹ (¹ 芝工大院理工、² 北里大獣医)
- P-012pm ★3 位メチレン置換型ビタミン K 誘導体の創製とカルボキシル化阻害活性
○杉山俊誠¹、Xuejie Chen²、Jian-Ke Tie²、須原義智¹
(¹ 芝工大院理工、² ノースカロライナ大生物)

- P-013pm ★糖鎖改変による Payload の空間配置制御による ADC 構築
○東郷匠真¹、八木菜月¹、鎗田ひかる¹、雲財悟²、廣瀬賢治²、津村遼³、
安永正浩³、眞鍋史乃^{1,4}
(¹ 星薬科大薬、² 日本ウォーターズ、³ 国立がん研究センター、⁴ 東北大院薬)
- P-014pm ★糖鎖改変による DAR を精密制御した糖鎖連結均一 ADC の構築
○八木菜月¹、東郷匠真¹、鎗田ひかる¹、雲財悟²、廣瀬賢治²、津村遼³、
安永正浩³、眞鍋史乃^{1,4}
(¹ 星薬科大、² 日本ウォーターズ、³ 国立がん研究センター、⁴ 東北大院薬)
- P-015pm 金属イオン配位構造を導入したインディルビン誘導体の創製と膵がん細胞
傷害活性評価
○市丸嘉、曾川甲子郎、細谷龍一郎、加藤英明、舩田正彦、栗原正明
(湘南医療大薬)
- P-016pm ★Epiipyridone 及び fusaricide の合成研究
○道地涼介、平井潤也、長光亨 (北里大薬)
- P-017pm ★抗 MAC 活性を有する mavintramycin A 及びその類縁体の合成研究
○田中立輝、佐藤花香、李大葵、有馬志保、細田莞爾、茂野聡、供田洋、
大城太一、長光亨 (北里大薬)
- P-018pm ★Dinapinone A1 及び A2 の合成研究
○佐谷七海¹、江藤大貴¹、李大葵¹、有馬志保¹、大城 太一¹、内田龍児²、
長光亨¹ (¹ 北里大薬、² 東北医薬大薬)
- P-019pm ★位置選択的なヨード環化反応を鍵とした PF1140 類の合成研究
鈴木隆介、○中川美海、平井潤也、長光亨 (北里大薬)
- P-020pm ★Computation-Assisted Development of Pseudoindoxyl-based Fluorophores
○Janna Kassana¹、Tomohiro Yazawa¹、Masaya Nakajima²、Akiko Takaya¹、
Tetsuhiro Nemoto¹ (1 千葉大院薬、2 東大院薬)
- P-021pm ★Synthetic Studies toward Anigopreissin A
○Wichita Kaekwanwong、位寄愛美、栗原崇人、根本哲宏
(Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University)

- P-022pm Asymmetric Syntheses of Resveratrol Dimers via Acylative Kinetic Resolution
○Phumjan Tanawat¹、野中洸志¹、蛭原大地¹、山内理靖¹、中島誠也²、
高屋明子¹、根本哲宏¹ (¹千葉大院薬、²東大院薬)
- P-023pm 金触媒を利用したベンゾジフラン類の合成
○佐藤綾花、千秋妃美、佐々木茜梨、橋本善光、森田延嘉 (昭和薬大)
- P-024pm ★Lundurine C の合成研究: azabicyclo[4.2.2]decadiene 構造の構築
○高橋優輔、塚本裕一、横江弘雅 (横浜薬大薬)
- P-025pm 慢性腎臓病の治療を目指した COMT 賦活化物質の探索研究
○齋藤弘明¹、富塚萌¹、高木諒¹、及川直毅¹、飯島洋^{1,2}、内山武人¹
(¹日本大薬、²CBI 研究機構)
- P-026pm ★ラモトリギン-グリコール酸塩の経鼻投与による脳移行性の改善：経口
および静脈内投与との比較
○米谷歩、穂山栞奈、馬場聖奈、長友太希、鈴木直人、鈴木豊史 (日本大薬)
- P-027pm ★ラモトリギン塩の調製による溶解性改善および鼻粘膜透過性の評価
○宮原空大、渡邊百々果、長友太希、鈴木直人、鈴木豊史 (日本大薬)
- P-028pm ★溶解性の異なるラモトリギン塩の経鼻投与が脳移行性に及ぼす影響
○柴田誉生、馬場聖奈、穂山栞奈、長友太希、鈴木直人、鈴木豊史
(日本大薬)
- P-029pm ★ラモトリギン含有ナノ結晶複合体の調製と溶解性評価
○篠崎愛理、藤本絢香、長島彩夏、長友太希、鈴木直人、鈴木豊史
(日本大薬)
- P-030pm ★連続混合造粒機 LaVortex G®を用いた粉体の連続乾式混合に及ぼす装置
内チョッパー戻り羽根枚数の影響
○羽鳥泰城¹、稲葉侑馬¹、鈴木豊史²、小柳敬太³、外山直樹¹、
亀井真之介¹、松本真和¹、上野明紀³、佐々木哲朗^{4,5}、大塚誠^{3,5,6}
(¹日本大・生産工、²日本大・薬、³(株)アーステクニカ、⁴静岡大院・光医
工、⁵静岡大・電子工研、⁶日本大・薬・薬研)

- P-031pm ★連続造粒機 LaVortex G®を用いた粉体の連続乾式混合に及ぼす装置内
チョッパー戻り羽根挿入位置の影響
○稲葉侑馬¹、羽鳥泰城¹、鈴木豊史²、小柳敬太³、外山直樹¹、
亀井真之介¹、松本真和¹、上野明紀³、佐々木哲朗^{4,5}、大塚誠^{3,5,6}
(¹日本大・生産工、²日本大・薬、³(株)アーステクニカ、⁴静岡大院・光医
工、⁵静岡大・電子工研、⁶日本大・薬・薬研)
- P-032pm ★連続生産 LaVortex□システムを用いたマンニトール処方のアセトアミノ
フェン含有顆粒剤の調製とその製剤特性
○徳重愛子¹、鈴木豊史¹、小柳敬太²、野牧拓真²、藤井春南¹、長友太希¹、
鈴木直人¹、上野明紀²、佐々木哲朗^{3,4}、大塚誠^{2,4,5}
(¹日本大・薬、²(株)アーステクニカ、³静岡大院・光医工、⁴静岡大・
電子工研、⁵日本大・薬・薬研)
- P-033pm ★脳内の酸化ストレス制御に関与するメチオニン型 ATCUN 銅結合モチーフ
○清水理沙^{1,2}、大内心想¹、根元碧¹、内山留奈¹、高橋菜々香¹、
萩原小琴¹、三浦隆史¹ (¹国際医福大薬、²東北大院薬)
- P-034pm ★コリン-アミノ酸系イオン液体によるタンパク質可溶化と高次構造形成
○柳川瑞紀、鈴木浩典、徳本七海、伊藤雅隆、野口修治 (東邦大薬)
- P-035pm ★フルキンチニブ治療での血中濃度と手足症候群および治療効果の評価
○森田智香¹、村山周平¹、金正興²、星茜²、稲垣貴士²、池田剛²、
堀池篤²、丸山真一³、加藤大¹
(¹昭和医大院薬、²昭和医大病院、³済生会横浜市東部病院)
- P-036pm ★ハイスルー putt 志向型ヒト一本鎖 Fv フラグメントライブラリー創製の
試み
○桑野功大¹、望月杏奈¹、平尾卓也¹、加藤芳徳^{1,2}
(¹国際医福大薬、²国際医福大院薬)
- P-037pm ★ペプチドナノ液滴の作製と造影能評価
木下颯汰¹、岡本英之¹、伊藤るり¹、根岸洋一¹ (¹東京薬大薬)

- P-038pm ★非蛍光性 AGEs 生成に対するかんぴょうパウダー及びノニジュースによる抑制効果
○羽深花音¹、村田明生¹、毛塚安彦²、河野一郎³、高石雅樹¹、小林章男¹
(¹国際医福大薬、²栃木県干瓢商協組、³マルルー (株))
- P-039pm ★健康寿命に影響する医療関連要因の分析
○菊島凱、高石雅樹、小林章男 (国際医福大薬)
- P-040pm ★クエン酸鉄化合物の細胞傷害メカニズム
○永嶋美空、西谷桜子、保科凜翔、高石雅樹、小林章男 (国際医福大薬)
- P-041pm 市販日本産ヒノキ精油の揮発性成分に関する比較解析
○竹元裕明^{1,2}、岩井沙知¹、粕谷ひかる¹、根本清光^{1,3}
(¹東邦大学薬学部公衆衛生学教室、²現・国際医療福祉大学成田薬学部、³現・日本大学薬学部健康衛生学研究室)
- P-042pm ニワトリ卵黄中に存在する抗 cSRCR 抗体と反応するタンパク質の探索
眞下まどか、○金光兵衛 (国際医福大薬)
- P-043pm ★認知症治療を目指したビタミン K と A の誘導体の神経分化誘導作用
○加藤彩花¹、渡邊莉菜¹、川村悠¹、畠中一颯²、石川栞希²、佐藤秀崇²、
武田一貴³、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}
(¹芝浦工大院・生命創薬、²芝浦工大・生命、³北里大・獣医)
- P-044pm ★活性型ビタミン K に変換されない新規ビタミン K 誘導体の代謝機構
○小柳芽生¹、須藤駿太¹、別城直太郎²、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}
(¹芝浦工大院・生命創薬、²芝浦工大・生命)
- P-045pm ★Python による多段階回帰解析：国内外における合成オピオイド・ニタゼン類の増加予測
○三枝杏平¹、曾川甲子郎¹、加藤英明¹ (¹湘南医療大薬)
- P-046pm 医薬部外品原料規格「タイム油」における新規 TLC 確認試験法の設定について
○吉富太一¹、岩橋孝祐¹、内山奈穂子² (¹神奈川衛研、²国立衛研)

- P-047pm ★水死由来成分の特徴的プロファイルの解析と死後経過マーカーの同定
○菅野海斗¹、永澤明佳^{2,3}、清水悠貴³、岩瀬博太郎³、小椋康光²
(¹千葉大薬、²千葉大院薬、³千葉大院医)
- P-048pm *trans*-Resveratrol によるヒト *BRCAl* 遺伝子発現制御メカニズムの解析
○高野右汰¹、花俣繁¹、内海文彰¹ (¹東京理大薬)
- P-049pm 酪酸によるヒト *ATM* 遺伝子プロモーター活性化機構の解析
○花俣繁¹、数馬優花²、海原百合子²、小田高弘¹、竹野輝¹、有山幸毅¹、
萩野暢子¹、内海文彰¹
(¹東京理科大薬生命創薬遺伝子制御、²東京理科大薬薬遺伝子制御)
- P-050pm ★培養がん細胞における Glyoxalase I 阻害と MEK/ERK 経路の関わり
○大山美彩¹、森茂千尋¹、鈴木和来¹、越田成美¹、高澤涼子¹
(¹東京理大薬)
- P-051pm ★Glyoxalase I 阻害によるがん細胞の増殖抑制および細胞死誘導機構の解析
○白川理彩¹、寺井麟太郎¹、寺林葵¹、高澤涼子¹ (¹東京理大薬)
- P-052pm ★ヒト膵臓がん BxPC-3 細胞の Gemcitabine 耐性機構の解明
○佐藤涼太¹、原(住井)遥^{1,2}、梁宇傑¹、野口耕司¹、佐藤聡¹
(¹東京理大薬、²国病機福山医療セ薬)
- P-053pm ★ゲムシタビン耐性膵臓がん細胞における環状 RNA の発現解析
○青木耀大、山岸陽向、伊藤亜希、五十鈴川和人、高橋哲史 (横浜薬大薬)
- P-054pm ★ヒト大腸がん HCT116 細胞における 5-FU 耐性化と細胞死回避の関連性
○宮前祐希¹、倉坂知夏¹、佐藤聡¹ (¹東京理大薬)
- P-055pm ★結腸癌細胞由来細胞外小胞のヘパラン硫酸が線維芽細胞への取り込みと
形態変化に与える影響
○渡邊萌花¹、下島雪菜¹、中田莉帆¹、高橋勝彦¹、巖浩允¹、穂山浩¹、
秋元義弘²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹
(¹星薬大、²杏林大医、³SBI ファーマ、⁴順天堂大医)

- P-056pm ★TAZ による乳癌細胞の足場非依存性生存制御機構
○橋崎礼奈、松下紗弥、中川英嗣、森一憲 (昭和医大薬)
- P-057pm ★ポリアミンバランスを是正する新規ポリアミン代謝酵素阻害剤の探索
○木原裕一¹、鈴木慧¹、武藤慧¹、村岡優太¹、高山淳¹、植村武史¹、
坂本武史¹、古地壯光¹ (¹城西大薬)
- P-058pm ★潰瘍性大腸炎に伴う直腸内ポリアミン量の変化
○大矢峻、小坂空知、平尾卓也、加藤芳徳、辻稔、高橋浩平、照井祐介
(国際医療福祉大薬)
- P-059pm デオキシコール酸混合ミセルにケルセチン添加による混合ミセルの粒径変化を DLS 測定で評価
○黄李堰¹、後藤了¹、槌田智裕¹ (¹東京理大薬)
- P-060pm ★網膜色素上皮細胞の老化における長鎖非コード RNA *NEAT1* の関与
○三好哲也¹、高橋音羽¹、佐藤聡¹ (¹東京理大薬)
- P-061pm ★皮膚において AhR 情報伝達系経路は天然保湿因子の産生に重要である
○池野朱音¹、清水璃音¹、日下部竜聖²、浅井将^{1,2}
(¹横浜薬大薬、²横浜薬大院薬学)
- P-062pm 重複 GGAA 配列と GC-box の組み合わせによる人工プロモーターの構築
周沐陽、花俣繁、○内海文彰 (東理大薬)
- P-063pm ★BHMT1 発現抑制細胞における脂肪滴局在タンパク質発現機構の解析
○大沢紗加¹、牧山智彦²、古山綾菜¹、南友翔¹、三ヶ尻智子²、小濱孝士²、
板部洋之²、宮崎拓郎² (¹昭和大薬、²昭和院薬)
- P-064pm ★SAS モデルマウスの不安感受性亢進に伴う脳内免疫・代謝系の変化
○根橋志¹、持田淳美¹、梅田啓²、岡田泰昌³、武田弘志¹、宮川和也¹
(¹国際医福大薬、²国際医福大塩谷病院、³NHO 村山医療センター)

- P-065pm ★慢性予測不能軽度ストレス誘発性腸内細菌叢の変化に対する
Enterococcus faecalis 2001 の効果
○原優佳¹、高橋浩平¹、大橋勇紀²、秋山雅博³、岩佐正弘⁴、岩佐広行⁴、
武田弘志¹、辻稔¹
(¹国際医福大薬、²名大院医、³昭和医大薬、⁴日本ベルム)
- P-066pm ★パーキンソン病細胞モデルにおける GLP-1 受容体作動薬 Orforglipron の
神経細胞保護効果
○立川航己¹、市川大樹¹、森脇康博¹、大江知之¹ (¹慶應大・薬)
- P-067pm ★エチルメチルヒドロキシピリジンコハク酸塩の経鼻投与による脳内送達
性と脳梗塞急性期に対する神経保護効果
○飯田翔、菊川千穂、長友太希、鈴木直人、鈴木豊史 (日本大薬)
- P-068pm ★マウス海馬神経由来 HT22 細胞を用いた尿毒症物質 *p-cresol* の毒性評価
○萩原菜月¹、安井一米田景子¹、南郷拓嗣¹、新井和樹²、川島央暉²、
宮岸寛子¹、青野悠里²、三枝禎²、小菅康弘¹
(¹日本大薬、²日本大松戸歯)
- P-069pm マウス海馬由来 HT22 細胞におけるコルチコステロン誘発細胞死に対する
セロトニン 5-HT_{1A} 受容体作動薬の作用比較
○宮岸寛子¹、田中津宮美¹、南郷拓嗣¹、小菅康弘¹ (¹日本大薬)
- P-070pm ★子宮筋腫・平滑筋肉腫に対する酪酸の抗腫瘍効果
○張一鳴¹、吉江幹浩¹、岡本早織¹、嶋田千紘¹、小島淳哉²、本部慎志¹、
津留涼也¹、草間和哉¹、西洋孝²、田村和広¹
(¹東京薬大薬、²東京医大医)
- P-071pm ★がん治療標的としての S1P-S1P₁ 系の機能解析
○和田卓登¹、松原正輝¹、八木秀樹¹ (¹国際医福大薬)
- P-072pm ★ヒト高骨転移性肺癌細胞株を用いた骨転移モデルの病態解析
○石津陽¹、菱沼彩花¹、西井杏圭¹、増田陽祐¹、八木秀樹¹
(¹国際医福大薬)

- P-073pm ★特異的抗体を用いたマウス癌細胞における S1P₁ 発現解析
○齋藤百花¹、JUNG DANYOUNG MIKA¹、八木秀樹¹ (¹ 国際医福大薬)
- P-074pm ★スキルス胃がん細胞株を用いた癌幹細胞性の検討
○藍澤広大¹、八木秀樹¹ (¹ 国際医福大薬)
- P-075pm ★ヒト LysoPS2/P2Y10 受容体に対する特異抗体を用いた機能解析
○新垣花奈¹、藤平ほのか¹、瀧歩夢¹、八木秀樹¹ (¹ 国際医福大薬)
- P-076pm ★ヒトリンパ行性転移乳癌細胞株を用いたリンパ管新生について
○兼子ゆき瑛¹、鈴木志歩¹、坂本晴夏¹、八木秀樹¹ (¹ 国際医福大薬)
- P-077pm ★抗体薬物複合体 T-DXd 投与後胃がん細胞の一過的耐性とその分子機序
○李墨含^{1,2}、馬島哲夫¹、川田直美¹、稲葉彩織¹、中村彩音^{1,3}、
清宮啓之^{1,2,3} (¹ がん研化療セ、² 東大院新領域、³ 明治薬大)
- P-078pm ★メラノーマ細胞における Vemurafenib 応答性と MITF・AKT 経路の関与
○門井杏¹、矢野友啓²
(¹ 東洋大院健康スポーツ科学、² 東洋大ライフイノベーション研)
- P-079pm ★BCL6 の BTB ドメインホモ二量体化を阻害する環状ペプチドの化学合成
と活性評価
○須藤このみ¹、谷口僚祐¹、門倉羽音¹、池川馨¹、今野翔¹、田口晃弘¹、
Ali Tavassoli²、林良雄¹、谷口敦彦^{1,2}
(¹ 東京薬大薬、² サウサンプトン大学)
- P-080pm 文献情報整理支援を目的とした機械学習システムの構築
○伊東岳¹、関真実子¹、渡邊茉由¹、杉山奈津子¹、倉本敬二¹
(¹ 国際医療福祉大薬)
- P-081pm ★薬物有害事象報告の性差による 1500 薬の UMAP プロファイリングの
提案
○伊藤翼¹、久米村花菜¹、高橋慶多¹、吉岡英樹¹、伊藤晃成¹、樋坂章博¹、
佐藤洋美² (¹ 千葉大薬、² 京大薬)

P-082pm スターボックス LATTE モデルに基づく患者対応の構造解析—薬剤師による服薬指導応用への検討—

○加藤英明¹、鳥越一宏¹、曾川甲子郎¹、浅野哲²、鈴木勉¹

(¹湘南医療大薬、²内閣府食安委)

P-083pm 国道 461 号ラベンダーロード計画:ラベンダー香るミカンサイダーの開発

○草野美空^{1,2}、金城ひまり^{1,2}、新井琉也^{1,2}、田枝和明^{1,2}、高橋琉奈^{1,2}、仲村夏生^{1,2}、藤井幹雄^{1,2}

(¹国際医福大国道 461 号ラベンダーロード計画、²国際医福大薬)

P-084pm 国道 461 号ラベンダーロード計画:継続的な活動基盤の構築について

○金城ひまり^{1,2}、草野美空^{1,2}、新井琉也^{1,2}、田枝和明^{1,2}、野澤こなみ^{1,2}、伊達穂乃花^{1,2}、吉位優人^{1,2}、城田優介^{1,2}、風間竣椰^{1,2}、仲村夏生^{1,2}、藤井幹雄^{1,2}

(¹国際医福大国道 461 号ラベンダーロード計画、²国際医福大薬)

P-085pm 国道 461 号ラベンダーロード計画:近隣の放置竹林を有効利用する

○新井琉也^{1,2}、田枝和明^{1,2}、小林健斗^{1,2}、城田優介^{1,2}、吉位優人^{1,2}、草野美空^{1,2}、金城ひまり^{1,2}、渡辺彰¹、藤田光男¹、藤井幹雄^{1,2}

(¹国際医福大国道 461 号ラベンダーロード計画、²国際医福大薬)